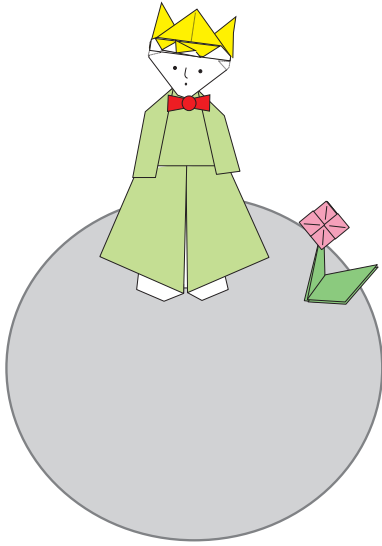


星の王子さま

サン＝テグジュペリ作
内藤 濯 訳



この本は、私たちが人生とは何だろうと思うとき 助けてくれるような気がします。何度も読みたくなる本の中の1冊です。

おとなの人ときたら、自分たちだけでは、なに一つわからないのです。しじゅう、これはこうだと説明しなければならぬようにと、子どもは、くたびれてしまふんですね。

おとなの人たちに「桃色のレンガでできていて、窓にジェラニウムの鉢が置いてあって、屋根の上にハトのいる、きれいな家を見たよ」といったところで、どうもピンとこないでしょう。おとなたちには、「10万フランのうちを見た」と言わなくてはならないのです。すると、おとなたちはとんきょうな声を出して、「なんて立派な家だろう」というのです。

本当に大切なものは 目には見えないんだよ。

人によって大切なものは異なりますが、あなたにとって本当に大切なものってなんですか？

* 折り図